



淡路駅付近連続立体交差事業だより

Vol.01

～創刊号！～



◆淡路駅付近の連続立体交差事業(連立事業)の紹介(その1)

大阪市建設局は、阪急電鉄(株)とともに阪急京都線・千里線の連立事業(高架化)を行っています。

この事業では、線路を高架にすることで 17 か所の踏切を一挙に除却し、踏切による交通渋滞や踏切事故を解消するとともに、あわせて鉄道により分断されている市街地の一体化を図ることを目的としています。これから何回かに分けて事業の紹介をします。

第 1 回目は、事業全体の概要です。

平成 20 年 9 月に淡路駅の南側で工事に着手し、準備の整った箇所から工事を開始しています。現在では最初に工事に着手した淡路駅の南側で、完成した構造物を見ることができます。(下写真)

事業区間平面図



- | | | |
|----------|-------|-----------------------|
| ・事業延長 | 7.1km | (京都線 3.3km、千里線 3.8km) |
| ・高架化される駅 | 4 駅 | (崇禅寺・淡路・柴島・下新庄) |
| ・除却踏切数 | 17 箇所 | (吹田市域 1 箇所含む) |



◆出前講座・現場見学会

平成 23 年 11 月 24 日(木)、市立東淡路小学校の 3 年生児童(60 名)を対象に、出前講座・現場見学会を行いました。

次回の事業だよりでその様子をご報告します。

また同日、さまざまな国より JICA(国際協力機構)の研修生を受け入れ、事業内容などを説明しました。

◆おわりに

この事業を進めるためには市民の皆様のご協力が不可欠です。

不定期ではありますが、今後もこの事業だよりを通じて、皆様に事業内容や工事の状況をご理解いただければと考えています。